

ふるさと納税（NPO 支援）指定寄附先 NPO 等一覧

1) 特定非営利活動法人 POSA

バングラデシュやインドにおいて、経済的な理由から白内障手術をうけられない方々に対し眼科医がボランティアで手術を行い、現地の方を失明から救っています。また、手術のため渡航する際には県内の学生も同行し、海外の事情等を学ぶ貴重な機会を得ています。



2) 特定非営利活動法人 浜一街交流ネット唐津

玄海地区の水産を魅力ある産業にするため、情報発信、消費者向けの体験学習、魚のさばき方教室等による消費者や観光客との交流を行っています。

漁業者などが水揚げする魚介類や生産する水産加工品の販売支援も行っています。



3) 認定特定非営利活動法人 日本 IDDM ネットワーク

わたしたち日本 IDDM ネットワークは、不治の病“1型糖尿病”の患者・家族を支援する認定 NPO 法人です。

1型糖尿病は原因不明で主に子どもが発症し、生涯にわたって毎日数回の注射又はポンプによるインスリン補充が欠かせない病。日本では年間 1000 人から 2000 人が発症するといわれています。1型糖尿病を告知された患者・家族は「一生治らない」という事実絶望してしまいます。



日本 IDDM ネットワークは、この病気の根絶（＝治療＋予防＋根治）を目指す研究に対し 2020 年 12 月までに 86 件 総額 4 億 4750 万円の研究費助成を行っています。このうち、28 件 3 億 2020 万円がふるさと納税のおかげです。

しかしながら、研究推進のためにはさらに多額の費用が必要となるため、GCF（ガバメントクラウドファンディング）も活用し、皆さまからのご支援をお願いしております。

5) 特定非営利活動法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ

暗闇のソーシャル・エンターテイメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」をはじめとする体験型イベント開催事業及び関連事業（調査研究・講演）等の開催により、子供の情操教育・障害者理解促進を行うことを目的とし、活動を行っています。



6) 公益社団法人 Civic Force

Civic Force は、大規模災害時に、企業・政府・行政・地域などと連携して、被災地に迅速かつ質の高い支援を届けます。各パートナーと、災害が起こる前から、災害時の支援プログラム策定や訓練、防災活動などを行い、災害時に迅速で効果的な支援を実現できるよう準備を行います。いざ災害が起きた時には、医師や救助犬を含むレスキューチームを派遣し、行方不明者の捜索や物資配布、パートナーとの連携による支援活動などを展開します。



7) 認定 NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン

私たち、ピースウィンズ・ジャパン (PWJ) は難民支援や災害救援の分野で 20 年以上の歴史を持つ国際協力 NGO です。近年は日本国内の地域活性化を目的とした活動にも力を注いでいます。佐賀県では佐賀の伝統工芸支援プロジェクト「ピースクラフツ SAGA」を立ち上げ、2015 年に活動を開始しました。「つくり手とつかい手をつなぐ」をミッションに掲げ、支援活動に取り組んでいます。第一線で活躍するデザイナーとのコラボによる商品開発、ウェブサイト・SNS を活用した情報発信、新規販路開拓、マーケティングデータの収集と分析などを行い、佐賀県の地域振興に貢献していきます。「有田焼／李荘窯／飛び砲プレート黒地金彩」は常にチャレンジを続ける有田焼の李荘窯業所さんとデザイナーとの商品開発を PWJ がコーディネートして生まれた逸品です。今年度も引き続き商品開発に取り組んでおり、10 月頃にお披露目予定ですので、どうぞご期待ください。



※PWJ では、寄附額の最大 15% を日本国内における費用（事務所の管理運営費、調査・提言活動のための費用など）に活用させていただいています。ご了承ください。

8) 特定非営利活動法人 poco a bocco

常に“ゆらぎ”の中で生きる女性たちが、こころの内に不安や悩みを抱えたまま生きることなく、人とのつながりの中で、暮らしの満足度や自己肯定感を高めることができる環境づくりが必要と考え、世代を超えた全ての女性を対象に、気軽に単発で参加できる幅広いテーマの講座、交流会、フィットネスを日々開催しています。



また、大規模な講演会等を年に数回開催しています。

いただいた寄附は、活動拠点の整備をはじめ、女性が抱える様々な社会的課題の解決に取り組むための経費に充てさせていただきます。

10) 特定非営利活動法人 とす市民活動ネットワーク

「私たちの好きなまちは私たちでつくろう！」を合言葉に中間支援 NPO として市民がお互いに支え合える住みよい地域をつくるために活動しています。転勤者の多い鳥栖市では子育て中のママたちと三世代親子の交流の場が必要です。その為に佐賀県産の木を使った「木育ひろば」を開設したいと思っております。



いただいた寄附は木育広場の運営経費に当てさせていただきます。

11) 特定非営利活動法人 ベネッセの会

佐賀県東部地区（鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町）において、移動困難者の通院・買い物など高齢者・しょうがい者向け生活支援を展開しております。中でも平成 23 年 11 月から福祉無償運行を開始。平成 25 年 5 月からは福祉有償運行（九佐福 41 号）も開始しております。介護保険に頼らず、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう支援付き地域を目指します。「もう一人の家族として」、弱者の心に寄り添ったサービスを心がけ共に助け合うまちづくりに邁進しております。日頃の活動のお陰で、今回の新型コロナ・ウィルスを災害ととらえ、ワクチン接種に行



けない移動困難者を無料にて送迎支援する事が出来ました。みんなが自分にできることから始めれば、必ず平安な日常が来ると信じて活動してまいります。

皆様からのふるさと納税については、この活動の車両維持費・地域奉仕活動の運転資金として活用させていただきます。

1 2) 認定 NPO 法人地球市民の会

1983年に設立した地域づくり団体です。地球市民運動を通じて、世界の平和と親善に貢献し、あわせて地域社会の向上発展に寄与することを目的としています。活動地域は、海外はミャンマー・スリランカ・タイ・中国・韓国で国際協力および国際交流の活動を行い、国内は主に佐賀市の中山間地域で地域づくりの活動を行っています。

海外では学校建設や奨学金、招聘事業等、国内では小学生キャンプや招聘事業等、国際交流の拠点づくり事業等の青少年育成事業に活用させていただきます。



1 3) 公益財団法人 佐賀未来創造基金

佐賀県内において、地域のお困りごとに気づき、動く NPO・ボランティア活動、地域の取り組み、様々な分野で地域を支える草の根の活動の「足りない資金・人材・物資」の支援をしています。



公益財団法人
佐賀未来創造基金

また、そうした地域のお困りごと（情報）を広くを届け、参加するきっかけづくり、思いを託すきっかけづくりを行っています。

1 4) NPO 法人 ブリッジフォースマイル

児童養護施設等を 18 歳で退所する子どもたちの自立支援を行っています。子どもたちが笑顔で社会生活を送れるよう、ひとり暮らしの知識とスキルを学ぶ巣立ちプロジェクトを始め、奨学金プログラム、就労支援など中学生から退所後まで参加できる多数のプログラムを実施しています。



1 5) 特定非営利活動法人 市民生活支援センターふくしの家

高齢化率の高い地域は佐賀市内にも増えています。皆さんが小さいころ目にし、育てられた地域は、少子高齢化と人口減少社会の中で、どこも一様に活気を失いかけています。

自治力が低下し、老々世帯や単身高齢者が増える中、要介護者でなくても、加齢により誰かの支援がないと普通の暮らしができない、今も困っている人たちがたくさんいます。

ふくしの家では、そうした人たちが集い、互いに助け合える多世代がふれあえる「居場所づくり」を地域に広がっていきます。元気な高齢者が増え、その人たちが地域を牽引することで、子どもも増え、また地域で育まれていく、そんな福祉のある暮らしやすいまちづくりを目指します。

皆様からのご寄附というボランティア参加をいただき、この取り組みに是非ご賛同いただければ心よりの幸いです。



16) 特定非営利活動法人 さが西部市民活動サポートセンター・フロンティア

中間支援組織としてCSO（NPO）支援を行うとともに、ICTを駆使して高齢者の認知症予防や若者の就職支援、ガンバルーンと呼ばれるボールを使つての高齢者の介護予防運動講座の実施等の活動を行っています。

今後も、このような高齢化対策事業を推進していくための資金として活用させていただきます。



18) 認定NPO法人 難民を助ける会（AAR Japan）

日本で生まれた国際NGO、難民を助ける会（AAR Japan）です。これまでに、世界60カ国以上で支援活動を展開してきました。現在は、シリアや南スーダンの難民支援、自然災害の被災者支援、障がい者の自立支援、地雷対策などを行っています。

いただいたご寄附は世界での支援活動のために活用させていただくとともに、佐賀県内で経験豊富な職員による出張授業などを実施し、将来の国際協力を担う人材を育てるお手伝いをさせていただきます。



20) 特定非営利活動法人 IT サポートさが

「ITサポートさが」は、インターネットを利用するすべての人を対象に、正しくICT（情報通信技術）を活用して社会をよりよくしていこうとする事業を行い、だれもが安心してインターネットを利活用できる社会作りに寄与することを目的として、日々活動を続けています。

主に子どもたちをインターネットから守るための教育の一環として、児童・生徒や保護者、教育関係者などに向けた講演やセミナーなどを開催しています。

また、インターネットでトラブルになった時の相談窓口の設置、情報モラル学習教材の制作等を行っています。いただいたふるさと納税は、安全に安心できるネット社会の構築と子どもたちの情報モラル育成支援に使わせていただきます。



21) 特定非営利活動法人スポーツフォアオール

中高齢者向けの健康教室や子どものスポーツ教室、発達障害児の運動教室をおこなっています。健康教室ではロコモ予防、介護予防を目的に県内各市町の体育館でボランティア学生とともに楽しく活動しています。子どもを対象とした野球等のスポーツ教室、発達障害児の運動機能やコミュニケーション力の向上を目指した運動教室、いずれの教室も佐賀大学と連携し、スポーツを専攻する大学生とともに活動することで、魅力ある教室が展開されています。

いただいた寄付によって県内すべての市町で年間を通して健康教室を開催すること、より多くの子どもたちにスポーツ教室に参加し、スポーツの楽しさを伝えていくことが私たちの目標です。



2 2) 特定非営利活動法人 かわかみ・絆の会

川上校区は佐賀市北部山麓に位置し、川上峡は「九州の嵐山」といわれるほど風光明媚なところですが、高齢化率が高く、公共交通が立ち遅れているため、通院や買い物に著しい不便をきたしている高齢者が多数おられます。

これらの高齢者がいつまでも住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、「かわかみ・絆の会」を立ち上げ、生活支援や移動手段の確保を図っています。



2 3) 特定非営利活動法人 ひまわり

唐津市北波多において、地域共生ステーション（宅老所真心の家とまごころホーム花の家）を運営させていただいております。北波多地区も例外なく高齢者の単身世帯や老々世帯の増加で、要介護状態ではなくても不安を抱えながら生活をしている方が多くおられます。

地域の皆様が健康で安心して暮らすことのできる環境をつくるため、地域の皆様と顔の見える関係づくりをしていきます。子どもから高齢者まで、誰もが寄り合える居場所を目指して、これまでの地域交流イベントを継続し、また新たな交流イベントの開催を模索し、地域の方々が生きがいを感じながら住み慣れた地域でいつまでも暮らせることの支援を続けていきます。



2 4) 特定非営利活動法人 クレブスサポート

佐賀県のがん対策NPO・クレブスサポートは、みなさんの寄附金について4つの使い道を定め、内部に「寄附金活用委員会」を設けて有効活用に取り組んでいます。

1、「がんサロンの運営」と、新たなサロン開設のお手伝い

がん患者・家族を地域で支えるがんサロンを充実させるとともに、現在の県内9カ所を20カ所に増やします。がんサロンまで来られない方の送迎や出張がんサロン、訪問による在宅の生活支援も行います。

2、がん教育の推進

「小学生からのがん教育」を実現するため、がん教育をするボランティア「がん教育支援員(CE サポーター)」を養成し、外部講師として学校現場に派遣します。

3、がん患者・家族の生活支援

就労の機会や収入減に悩むがん患者・家族は、がんサロンで活動したり、がん教育支援で受け取るわずかな報酬(活動費)で救われています。これをできる限り充実させます。

4、寄付金活用委員会にお任せ

医師と市民有志で構成する寄付金活用委員会は、がん患者・家族に夢を与える「熱気球購入プロジェクト」を含めて、いま何が必要か、寄付をどう生かすか—を考え実行します。この結果については、別に定める外部評価委員会に評価してもらいます。



25) 特定非営利活動法人 アニマルライブ

佐賀県に収容された動物を引き出し、殺処分数の削減に寄与します。保護された動物達の新しい飼い主を見つけ新しい環境での生活を与えるきっかけを作っていきます。また、飼い主の意識向上を目指して啓蒙活動や告知を定期的に行います。

保護された人慣れしていない犬や問題犬に対しては適切なトレーニングを行い、新しい飼い主希望者にはしつけの部分などの勉強をして頂く活動を行います。

「飼い主のいない猫」に関わる苦情の解決や、保健所への収容数の減少に寄与する活動も行います。



26) 特定非営利活動法人 さが市民活動サポートセンター

「あなたのために」「社会に役立つ」を仕事とし頑張る人やCSO（市民社会組織）を応援し「人づくり」、「地域づくり」、そして『ご縁』をつなぐ中間支援組織です。

シェアハウスの運営、こども食堂開催、佐賀市中央大通りエリアマネジメント協議会の運営など、地域のにぎわい創出、コミュニティづくりのための事業を行っています。

いただいたご寄附は、これらの事業に活用させていただきます。



27) NPO 法人九州トリム体操協会

トリム体操とは、心身ともにバランスのとれた健康体へと導いていくことを目的とした体操で、佐賀県を中心に九州各地で活動をしています。100歳まで元気！を合言葉に、体操教室のほか、宅老所・デイサービス事業や農園事業などを行い、地域の健康と福祉の増進に貢献するため取り組んでいます。

また、被災地支援活動をきっかけに、全国各地で体操を通じた健康づくり活動を実践する指導者の養成にも力を入れているほか、高齢者の支え合いサロンの新設など、活動の輪を広げています。



28) 特定非営利活動法人 鳳雛塾

鳳雛（ほうすう）とは、鳳凰の雛を指し、「未来の英雄」という意味があります。

私たちは、地域活力の最大の資源である人材に着目し、地域の将来を担う「ひとづくり活動」を行っています。具体的には、小学生から大学生・社会人に至るまでのすべてのステージにおいて「起業家教育」を実践しています。また、この事業に欠かせない様々なネットワークを繋ぐ「コーディネート」として、佐賀県内の行政機関をはじめ教育機関や産業界との連携強化を図っています。



29) 認定特定非営利活動法人 佐賀県難病支援ネットワーク

ひとりじゃないよ！いっしょに話せる仲間がいます！

病気があっても暮らしやすい・はたらきやすい社会の実現へ向けて！

①原因不明で②治療方法がわからず③患者数が少ない④経済・人・精神に負担の大きいのが「難病」。

当事者やご家族からの相談に寄りそいながら、「お悩み」という糸をほぐし、様々な関係機関と連携し、生活・就労・制度などの支援をおこなっています。



30) 特定非営利活動法人 ようこそ小城

小城市を中心とする市民活動の発展を図る為、市民活動を行う者同士のネットワークを構築し、市民活動の環境基盤整備、自治体と市民活動を行う者との関係構築のための事業を行っています。

(写真は毎月、ようこそ小城主催で開催している「小城ファシリテーション研究会」の様子)



頂いたご寄附は上記相談事業にかかる物品の購入等、小城市内のCSO支援のための資金として活用させていただきます。

31) 佐賀嬉野バリアフリースーツアーセンター

【旅行をあきらめないで！】

当センターは、高齢者・障がい者・ベビーカーユーザー・外国人などの旅行の際のバリアを解消し、全ての人が旅行を楽しむ事ができるように活動しています。具体的には以下の活動を行います。

1. バリア調査
2. バリア情報提供
3. 補助器具の貸し出し
4. ヘルパーによる温泉入浴介助の仲介
5. バリアフリー啓発
6. その他



これらの活動を通じ、「温泉旅行をあきらめていた」年間1,000人以上のお客様に嬉野温泉への旅行を楽しんでいただいております。しかし、上記の活動は基本的にボランティアで行っている為、慢性的な資金不足に陥っております。皆様から頂いた貴重な資金は、上記の活動を円滑に遂行するために使用させていただきます。

32) 特定非営利活動法人 愛未来

愛未来は、佐賀で生まれた20年の歴史を持つ国際協力団体です。特に、スリランカやパラオにおいて子どもたちの生活を安定させるために、母親の働く場をつくるなど女性の自立支援に力を入れるとともに、スリランカやパラオを訪問し友好交流を深めています。また、スリランカカリーの料理教室やバルーンフェスタ会場の小さなテントでのスリランカカフェなど、食文化を通じた国際交流にも取り組んでいます。



いただいたご寄附は、愛未来の国際交流・国際協力の活動資金として活用させていただきます。

3 3) 認定特定非営利活動法人 たすけあい佐賀

「たすけあい佐賀」の合言葉は「困ったときはお互いさま」。

毎日の生活に不安が出てきたおじいちゃん、おばあちゃんや、心身の不自由な子どもたちが楽しい毎日を送ることができるよう「いつでもどこでもお手伝いをしていたい!」という気持ちでいっぱい
NPO 法人です。

私たちが今、力を入れているのが、佐賀県の『地域に根付いた居場所 (サロン) 作り』

気軽に誰でも集まることができる居場所を作って、一緒にごはんを食べて、おしゃべりしたらすごく楽しい。2017年5月から始めた「たすけあい食堂」では、300円の手作りランチのあと、ミニコンサート、アート教室、体操などで、多くの人が楽しんでいます。

しかし、安くておいしいものをご提供するには、材料費も人手も足りません。現在は、週1回、当 NPO 法人の持ち出しで経費をまかなっています。これを開催日、開催場所を増やしてもっともっと大勢の方に長く楽しんでいただけるよう、皆様の温かい寄附を待ち望んでおります。とくに「佐賀出身だけど他県にいて、佐賀県にいる親御さんやご親戚のご老人のために何かしてあげたい」という方、ふるさとの楽しい地域サロンのために、ぜひ、寄附をお願い申し上げます。



3 4) 特定非営利活動法人 愛えん

愛えんでは、長年認可外保育事業実施などで培ったノウハウを活かし、地域で子どもたちがのびのび、いきいきと暮らせるように、保護者向けの子育て相談や親子で参加できる自然体験型の体験学習などを実施しています。

最近では、地域での防犯パトロール、いわゆる「青パト」を実施しようと試みているところです。

ふるさと納税でいただいたご寄附については、上記のような、地域で子どもたちがいきいきと育つための愛えんの事業に活用させていただきます。



3 5) 特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス

認定 NPO 法人テラ・ルネッサンスは、「すべての生命が安心して生活できる社会 (=世界平和) の実現」を目指して 2001 年に誕生した NGO 団体です。

ウガンダ、コンゴ (民)、ブルンジ、カンボジア、ラオス、日本の 6ヶ国で、「地雷」「小型武器」「子ども兵」「平和教育」という、4つの課題に取り組んでいます。

また、東日本大震災の復興支援として、岩手県大槌町で大槌復興刺し子プロジェクトを運営。現場での支援活動と同時に、国内で啓発・政策提言を行うことで、課題の根本的な解決を目指しています。

いただいたご寄附は、国内外での支援活動に活用させていただくとともに、講演活動やワークショップなどを通して、佐賀県内にて国際協力に携わる人材育成にも活用いたします。



36) 特定非営利活動法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会

放課後児童クラブは、保護者が仕事等で昼間家庭にいない子どもたちを、放課後、適切な遊び及び生活の場を与えて健全な育成を図るところです。ですが、佐賀県内の児童クラブは、そのための施設設備が十分といえず、子どもにかかわる指導員の仕事も確立されていません。



私たちは佐賀県の放課後児童クラブの充実と発展を推進するとともに、幅広い子育て支援活動を行う団体です。今後、放課後児童クラブの必要性は高まると考えられ、子どもたち

にとって、働く親にとって、児童クラブが心地よい生活の場所となることを願って、放課後児童クラブの充実と発展を目指すために、この会を発足しました。主な活動は放課後児童クラブの支援員及び子育てに関わる方々の人材育成のため幅広い研修会・ワークショップを実施しています。

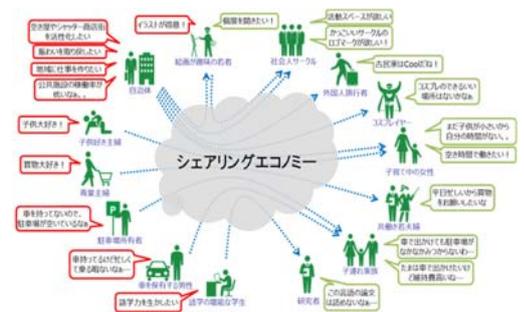
また、放課後児童クラブの子どもたちによる作文・絵日記・絵《せんせ〜！あのね》作品集を季刊し、年1回、入賞作品の表彰式を実施しています。

37) 特定非営利活動法人 価値創造プラットフォーム

シェアリングエコノミーを地方で活用できるようセミナー・勉強会や実証実験を行っています。

合わせて、商店街や中小企業の経営革新に繋がる支援を行っています。

佐賀県内にシェアリングエコノミーの普及活動に活用します。



38) 北川副小学校運営協議会

「こどもおなか一杯便事業」を通じて、佐賀市立北川副小学校区の生活の厳しい家庭のこどもの「おなかすいた」を解消することを目的に、生活の厳しい家庭等の対象世帯に1月に1回10kgの食品パックを支援します。小学校(コミュニティスクール)を拠点として、地域の支援と地域のつながりを強化し、さまざまな困った環境に直面している北川副のこどもに寄り添い続けます。



39) 多久山笠保存会

多久山笠は昭和23年から70年続く、8月15・16日に開催される多久のお祭りです。

私たちは多久山笠を通じて感動・感謝・交流を地域社会と次世代の子供たちに伝えることを目的としています。

伝統の多久山笠の炎を消さないため、地域社会と子供たちに多久山笠を伝えていく為に取り組んでいます。

頂いたご寄附は多久山笠の普及活動と人材育成、多久山笠の運営費に活用させていただきます。

ご支援宜しくお願ひします。



4 0) 一般社団法人 文化芸術の泉 アール・フォンテヌ

当団体は文化芸術を守り、活用していくために、あらゆる芸術文化のイベント企画をしております。

なかでも小城鍋島家という小城に2軒のみ残存している武家屋敷を活用しており、89歳である小城鍋島家・末裔のおばあさんを見守りながらの古民家活用、全国初「見守り型古民家活用」を実施しております。

武家屋敷には文化財に匹敵するものも残っておりますので、それらを守り、補修しながら活用している事業です。



4 1) アルモニア管弦楽団

アルモニア管弦楽団は2002年に生まれた佐賀県内で活動をしているオーケストラで、「アルモニア」とはイタリア語で「調和」「統一」を意味します。

九州5県から優秀なアマチュア・各楽器の専門家・プロオケの現役などが集まり、楽団員は75名を超えました。

年数回の依頼演奏会や年一回定期演奏会を行っており、国内ハイクラスの指揮者やソリストをお呼びして、外からの音楽の素晴らしい空気を取り入れています。佐賀で出来るだけ多くの良質のコンサートを開催し、クラシック音楽で県民の皆様に豊かな精神生活を過ごしていただくお手伝いが出来ればと望んでいます。

当楽団はまだ歴史の浅い楽団です。これから皆様と一緒にアルモニアの歴史を築いていきたいと思しますので、ぜひ皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。



4 2) 特定非営利活動法人唐津環境防災推進機構 KANNE

日本一美しい、特別名勝「虹の松原」！

長い歴史の中で人々の生活に密接に結びつき生まれ、人の手を通し育まれてきた松原。しかし、今、松原の存続が危ぶまれています。

400年もの間、守られてきたこの美しい景色と、松原と人との絆を子ども達にも繋げていきたい！

私たちは、この想いを実現するために平成20年から地域の皆さんと取り組んでいます。現在はボランティア登録者も7000人以上にもなり、平成28年には環境大臣表彰をいただきました。

ふるさと納税でいただいたご寄附は、市内の小学生が松原に来て触れ親しんだり、学習するための活動費に活用します。

私たちは、日本の宝である「虹の松原」を宝の姿のままで、まずは100年先の子供達へ継承していく責務があります。昔のように人と松原が関わり合う文化を復活させ、人と自然環境の持続可能な関係を取り戻すことを目指しています。皆さまのご協力をお願いいたします。



4 3) 特定非営利活動法人ひとり親 ICT 就業支援センター

佐賀県在住のひとり親家庭の親、または障害者や子育てのため離職されている人など、一般就労が厳しい人たちにパソコン研修を行ない、家庭と仕事の両立が図りやすいパソコンを用いた在宅就業などのお仕事を委託し、生活の向上や雇用機会の拡充を支援する活動を行っています。

ふるさと納税でいただいたご寄附は、一般就労が困難な方にパソコンスキルの習得や向上をしていただくため、研修会の開催や研修用パソコン等の整備に活用させていただきます。



4 4) 特定非営利活動法人 MATSRA

私たち MATSRA(まつら)は、唐津沖にある国の海洋エネルギーの実証フィールドの運営団体として、地元の漁業代表やエネルギーの専門家などの有志で平成 27 年 3 月に設立した NPO 法人です。

「海からエネルギーをつくろう」をスローガンに、私たちの暮らしに欠かせない電気を海から作れないかと試行錯誤しながらチャレンジしています。

日本は四方を海に囲まれた島国。海洋エネルギーの技術が確立されれば、燃料を海外に頼らずにすむ時代が来るかもしれない…と、夢は膨らむばかりです。

発電装置の製造や実験など、新しい技術の開発には失敗を恐れず何度も何度もチャレンジする地道な活動が必要で、コストもかかります。

夢を実現させるため、私たち MATSRA(まつら)を応援してください。視察への対応も行っています。



4 5) 特定非営利活動法人空家・空地活用サポート SAGA

『佐賀県住宅確保要配慮者居住支援法人第一号』

当団体は日本全国で大きな社会問題となっている、『空き家問題』の解決を図るべく、無料セミナー・無料相談会・無料個別相談を常日頃行っており、微力ながら、同問題の解決に取り組んでおります。

そんな中で、空き家活用の相談以外にも、行政や生活困窮者を支援している NPO などから、少子高齢化に端を発する【**貧困家庭の学生、一人親家庭、独居高齢者、障害者、低所得者、あるいは留学生**】などの居住確保の相談が増え続けております。

しかしこれらの、『住宅確保要配慮者』と呼ばれる方達が住まいを確保しにくい現実があります。そこで当法人は、頂いたご寄附を空き家を利用した住居やシェアハウスの普及活動に使い、『住宅確保要配慮者』の住まいを確保していきます。



4 6) 特定非営利活動法人かわそえスポーツクラブ

「1人より2人、2人より3人のほうが…ひとつのサークルより多くのサークルのほうが仲間が増えて、楽しさはふくらむ。」

かわそえスポーツクラブは市民、地域の皆様がいろいろなスポーツを楽しみながら『健康づくり』、『仲間づくり』、『ひとづくり』、『生きがいづくり』をめざしています。

現在、少年スポーツクラブ16種目、一般サークル27種目に子どもから高齢者までの会員(約900名)が楽しく活動され、43種目団体の運営や活動の手伝い、短期教室やイベント(グラウンドゴルフ大会・ミニバレーボール大会・スポーツデー)等の開催、マイクロバスの運用、指定管理委託業務(佐賀市立スポーツパーク川副、川副運動広場)、クラブの運営等の活動を行っています。

いただいたご寄附については、運営や活動経費に活用させていただきます。



4 7) よかことしよう会

病気の子どもたちと家族を支えるためにあなたの支援が必要です。ファミリーハウスを知っていますか?ファミリーハウスは小児がんなどの難病治療のため、自宅から遠く離れた病院に長期入院する子どもとその家族のための滞在施設です。

“よかことしよう会”は、佐賀県で初の「ファミリーハウス佐賀」を支援している団体です。「ファミリーハウス佐賀」に集まった寄附は子どもに付き添う家族に快適な環境を提供し、元気になってもらうため、施設の環境整備、運営スタッフの人件費、清掃費、季節ごとのイベントの実施費用などに充てられます。



4 8) 基山フューチャーセンターラボ

「学びをやめない」という理念に共感した地域住民が立ち上げた「基山フューチャーセンターラボ」。あなたがあなたらしく HAPPY にを合言葉に著名人による「まちゼミ」や「シアターゼミ」などを不定期開催しています。また、毎週水曜日はラボキッチンによるパンの販売も行っています。

- ・基山町子育て支援事業「ようこそ井戸端会議へ」プロジェクト委託
- ・佐賀県「観光の担い手育成事業」委託 ほか



4 9) 特定非営利活動法人日本レスキュー協会

阪神・淡路大震災の起こった1995年の9月1日(防災の日)に日本レスキュー協会は誕生し、「犬とともに社会に貢献する」ことを理念として活動しております。

関西圏を中心にこれまで23年の活動の中で培ってきた知識や技術を持って、佐賀県内ひいては九州県内の地域課題などの解決のお手伝いをさせていただきます。

私たちは行方不明者を探し出すために特殊な訓練を受けた「災害救助犬」の育成・派遣、被災者や障害のある方、高齢の方などがもう一度前を向くための手助けをする「セラ



ピードッグ」の育成・派遣、そして「動物福祉」の活動を行っております。

長くこの活動が継続できているのは、世の中にそれだけ多くの課題や要望が存在し、それに対してこの活動が必要であると認められ、そして多くの方々に理解されご支援をいただいているからです。

いただいたご寄附は上記の活動に活用させていただきます。

5 0) 特定非営利活動法人晴耕雨読舎

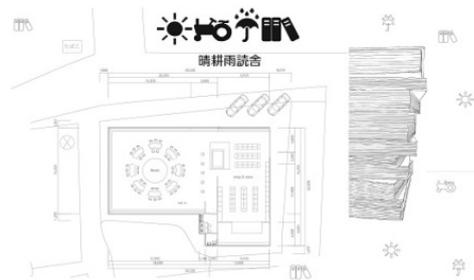
晴耕雨読舎は本と出逢う機会を増やし、情報格差を解消することを目的として活動しています。

図書館が無い小学校区で、図書館に行きたいのにいけない子供たちや、移動手段が少ないお年寄りの身近に図書館が必要です。

そして仕事や家事が終わってからでも行ける、朝早起きして行ける図書館があるとなお良いという想いから、身近な地域である小学校区にいつでも開いている図書館を設立・運営することを目指しています。

その第一歩として佐賀県の大町町にコンビニエンス型民営公共図書館の設立を計画しています。

ふるさと納税でいただいたご寄附は、蔵書の購入をはじめ図書館サービスの充実に利用させていただきます。



5 1) 特定非営利活動法人かいろう基山

かいろう基山は、孟宗竹を伐り、災害に強い里山づくりを目指し活動するシニアのボランティア団体です。火～土曜の8時半～11時半、毎日10名前後が会社のように出勤し、活動しています。平均年齢は70歳を超えていますが、平成29年は224日、延べ人数3,160名が活動し、今までに整備した竹で覆われた里山は5.2ha（約52,000本の孟宗竹を伐採）にも及びます。

私たちは補助金・助成金頼りの団体から、自力で活動できる団体へとすべく、伐った竹の資源化・活用に鋭意努力を注いでいます。これらの活動が評価され、平成29年度には第2回佐賀さいこう表彰（協働部門）を受賞しました。しかし、組織としては事務所もなく、職員もいません。

人材、物資、経済面、情報の基盤が大変脆弱で、永く私たちの活動を継続させるためには、これらをよりしっかりとしたものにする必要があります。

ふるさと納税で頂いた寄附金は、この基盤を強くすることに活用させていただきます。

どうぞ私たちと一緒に寄附という形で森づくりへご参加ください。よろしくお願いいたします。



5 2) 特定非営利活動法人子どもと文化のネットワークぽっぽ・わーど

ぽっぽ・わーどは、子育て中のママ達を支援している団体です。

鳥栖市は転勤族が多く、その中のママ達の中には子育てにおいて不安や悩みを抱えて誰にも相談できず「孤育て」している人がいます。「孤育て」しているママ達が、ひとりでも安心して地域で子育て出来るように「親戚のおばちゃん家」の様な温かいおしゃべりの場・交流の場を提供しています。

沢山のママ達が佐賀に来てよかった、子育てできて良かったと思える子育て支援活動を行います。



5 3) 特定非営利活動法人鳥栖子どもミュージカル

鳥栖子どもミュージカルは、平成15年に設立、翌年、第1回公演「あいと地球と競売人」で誕生しました。

子どもたちは「キッズミュージカルTOSU」と云います。

小学校2年生から中学生までの子どもを対象に、毎年公募、「ミュージカルという表現活動を通しての子どもの健全育成と地域からの質の高い芸術文化の発信」を目的に家族、地域社会での友情や協調性、そして思いやりのある心を育て、人間性豊かな社会を創造していきたいと考えている団体です。

また、地域のお祭りやイベントにも多数出演するなど、地域に根差した活動も続けています。

卒業生の中からは、宝塚やミュージカル女優として活躍している子も出てくるなど、舞台の質の高さには定評があります。



5 4) NPO 法人 MBFC

私たちは「子どもたちと共に活動している、『音楽』と『本』のファンクラブ」です。英語にすると「Music&Book Fanclub with Children」。略してMBFCです。人と人、心と心をつなぐ、魔法のような音楽の力と、読む人の可能性を広げてくれる本の力を信じ、活動しています。

高齢者施設やホスピスでの演奏活動、読書活動推進スクールコンサート、子どもミュージカルの制作など、様々な音楽企画を行っています。



年齢や立場を越え、子どもたちと共に成長しながら、活動を通していただいた大切なお金を、大好きな「本」に変えて、南アフリカをはじめとする、世界中の子どもたちに届けていきます。

5 5) 特定非営利活動法人佐賀げんき会

精神障がい者及びその家族が関係機関や一般市民との連携の中で、共に楽に幸せに生きて行ける道を探し、また、市民社会組織（CSO）などと協働し精神保健福祉の向上の一翼を担い、市民が住み良い心豊かな生活が営めることを目指しております。

具体的な活動内容として、

語ろう会…個々人の悩みや問題を出し合い情報交換を行います。

研修会…医療関係者や行政関係者を招き、勉強・施設見学又講演会やシンポジウムなどを行います。

啓発活動…年末に地域の人たちを招いての餅つき交流会をはじめ、地域のバザーなどに参加し、精神障がいの人にふれあう機会を作っています。

近隣の小中学校の職場実習などを受け入れたり、こちらから出向いて課外授業を行ったりして、障がい者への理解を促進しています。



56) 特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス

『声なき SOS』を受け止める。』、私たちは、学校や地域社会から孤立し、「助けて」の声すら発することができない子ども達に寄り添ってきました。不登校、ひきこもり、非行、ニート等、自立に困難を抱える子ども達が抱える背景要因は一人ひとり異なります。



いじめ被害、貧困、虐待、DV、精神疾患、発達障害…。孤独の中で極限の状態に追い込まれた子ども達…。「どんな境遇の子どもも見捨てない！」、

私たちはアウトリーチ(訪問支援)のプロフェッショナルとして、カウンセリングから学習支援、家族支援、居場所づくり、就労支援等、社会参加・自立に至るまでの

「伴走型」の寄り添い支援を実践しています。

57) 一般社団法人 CIELO

「心にもいつも太陽を！」「すべては子どもたちのために！」

一般社団法人 CIELO は保育園運営を柱に子育て支援活動を行っています。子どもたちを真ん中に、お母さんお父さん、スタッフがともにうれしいこともかなしいこともわかちあい子どもも大人も一緒に育って行ける場の創造を目指しています。



大人が笑うと子どもも笑います。子どもが笑顔だと未来に夢が広がります。

子どもの明日を、ママ、パパの明日を、地域の明日を、みんなの「明日」を応援します。

58) 一般社団法人こども宅食応援団

「孤立する親子」は、病気や、育児鬱、ネグレクト、そして虐待など、さらなる困難に陥るリスクがあり、しっかりとサポートしていく必要があります。こども宅食では、経済的に厳しい状況にある親子の家に、定期的に食品を届けることでご家庭との関係性を築き、見守りながら、食品以外の様々な支援につないでいきます。



59) 特定非営利活動法人スポーツラボ GABAI さが

※現在準備中です。情報公開までしばらくお待ちください。

60) 特定非営利活動法人パルサポートキッズの会

NPO 法人パルサポートキッズの会は、がんや脱毛症、無毛症等で悲しむ子どもやママを一人でも減らし、多くの子どもたちやママを笑顔にしたいという想いで、医療用ウィッグを無償でプレゼントする活動をしています。



主な活動としては、がんや脱毛症などで悩んでいる方へのウィッグの無償提供、家族会などの運営、この社会課題を一般の方々に知ってもらうための啓発活動を行なっています。

6 1) 一般財団法人佐賀県母子寡婦福祉連合会

ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上、子どもの健全育成が団体の基本理念です。

① 常生活のサポート

ひとり親家庭で一時的に保育や家事・介護を必要な際に、家庭生活支援員を派遣し、身の回りのお世話や保育を行います。

② 仕事、生活の相談に応じます

専門の就業・生活相談員が相談に応じます。厚生労働省の許可のもとに「無料職業紹介所」を開設しています。

③ 無料 法律相談・心理相談

弁護士による養育費等の法律相談を行います。専門家による心理相談も行います。相談料は無料。

④ 子どもの学習支援

県内各地で小・中学生に学習塾を開講し、学習支援や相談を行います。

⑤ 親子で楽しむイベント

親子ふれあい野外研修。県内地域支部で色々なイベントを行っています。



62) 特定非営利活動法人森林をつくろう

私たち、特定非営利活動法人森林をつくろうは、緑豊かな森林を後世に残すため、木材を使う魅力を多くの人に発信するため、そして林業が活性化して、地域が元気になるために、面積の約8割を森林が占める、佐賀県神埼市脊振地区を拠点に活動しています。

- ① 佐賀県内の管理する森林での植林・育林と果樹収穫体験
- ② 木工教室やキャンプなどの自然体験
- ③ 国産木材 PR のための学生向け設計コンペと木材利用相談受付などを実施しています。



63) 一般社団法人地域活性化いじめ撲滅実行委員会

「佐賀県から！日本から！ いじめゼロ宣言！！」

「599人」

2018年度、日本のどこかで将来、有望な子ども達が自ら命を絶ってしまいました。

1日に1～2人が自死している現実。今日もどこかで思い悩んでいる子どもがいるのかもしれない。

子どもの頃いじめに遭い、不登校児だった経験を持つプロレスラーの将火怒（まさかど）を中心に

●希望いただいた小中学校へ出向き、道德の時間に無償で出張授業を実施。

子ども達に、いじめの怖さ、命の尊さ、夢を持つ大切さを伝えています。（昨年は54校）

●いじめに悩む子ども・不登校の子どもに直接会いに行き、その後も会話を続けていく活動を行なっています。昨年度は6人の子どもさんが100%学校生活に戻ってくれました。

行政、学校、保護者、そして地域の方々が、同じ意識をもって連携を組むことにより、子どもに限らず地域から「いじめ」や「独りぼっち」が無くなると信じています。



64)特定非営利活動法人灯す屋

『このまちに暮らす人びとと共に、豊かな未来をつくる。』
私たち灯す屋は、空き物件の利活用や移住・定住の支援を軸にさまざまな活動を行い、このまちで暮らす人とともに豊かな未来をつくりまします。

【事業内容】

－空き物件の管理及び活用推進

(相談窓口、調査・マッチング、見学ツアー、空き物件活用マルシェ、など)

－移住・定住支援

(移住者交流イベント、お試し住宅運営、など)

－後継者育成支援

(商品開発、など)



65)特定非営利活動法人佐賀県地域生活支援ネットワーク

医療的ケアの必要な障害児・者、重症心身障害児・者、行動障害の大きな人等が、「親なき後」も地域で普通に暮らすには、就労時の通勤等の移動問題、緊急時の拠点整備、権利擁護の推進等の問題が山積しています。

当法人は、重度障害者を取りまく大きな社会の壁（障害：しょうがい）を少しでもなくすよう活動し、全ての人が住み慣れた地域でいつまでも住み続けられるようにすることを目的としています。

主な取組は次のとおりです。

- ① 重度障害者（医療的ケアの必要な障害児・者を含む）のための中立で親身な相談支援事業（親なき後の支援活動を含む）
- ② チャレンジドフォーラム inSAGA の実施・事務局／毎年 11 月
- ③ 重度障害者の地域共生・親睦、関係機関とのネットワークに関わる活動への支援
- ④ サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修等障害福祉人材育成事業



66)佐賀災害支援プラットフォーム

佐賀災害支援プラットフォームは、被災地支援のためにアクションを起こしたい佐賀県民または同県に所縁のある者が、それぞれに活動をし、その情報交換や協力をするために集った「想いのプラットフォーム」であり、県内外で起こりうる災害に対し、防災意識を高め、県民全体で行動できるネットワーク形成を目的とする団体です。

平時の顔の見える関係づくりのために、勉強会、訓練などを行っています。



67) 社会福祉法人佐賀いのちの電話

「佐賀いのちの電話」は、さまざまな問題をかかえて孤独と不安に苦しみ、生きる力を失いかけている人々に、「電話」を通して対話することにより、生きる意欲を自ら見い出せるよう心の支えになることを願うボランティア活動です。24時間365日、休むことなく電話相談を続けています。

この活動は無報酬の電話相談員130人の献身的な奉仕活動によって支えられています。しかし、相談員養成費や研修費、電話局、事務局の経費などの多額の運営費が必要となり、厳しい財政運営を強いられています。

この運営費は法人・個人の寄付でまかなわれており、皆様の温かいご支援をお待ちしております。



68) 特定非営利活動法人 Murark

佐賀北部山間地（佐賀のお山）で循環型社会を目指し、様々な地域事業の創出やコミュニティづくり、移住支援を行っている団体です。自分たちの暮らしを守っていくためにはありますが、佐賀のお山に暮らす人が増えることは山林の管理保全につながり、ひいては佐賀平野の治水の安定につながると考えています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



69) 特定非営利活動法人きゃんどうるハート

私たちは「しあわせ家族は、お母さんの笑顔から！」を合言葉として、佐賀県「みやき町産前産後サポートステーション」にて助産師、看護師、ストレスケアカウンセラーによるお母さんの産前産後ケア事業を行っています。最近「実家が遠い」「高齢出産のため、帰ったとしても実家の母親が高齢だったり、祖母の介護中でゆっくりできない」「もともと実家が心安らぐ場ではない」など、様々な事情で産後の養生がしっかりできない母親が増えています。そのせいで、腰痛・肩こり・などの身体の不調だけでなく、イライラしたり情緒不安定になったり、不安や孤独に苛まれて自殺を考える母親が増えています。また将来的には育児放棄や虐待にもつながることが指摘されるなど、社会問題にもなっています。きゃんどうるハートでは「出産後はプロの手によって母親の体と心をしっかりケアする！」という「新しい産後の当たり前」を作ること为目标に、一歳未満の赤ちゃんのお母さんに、ゆっくりと養生ランチを食べていただいて、お昼寝でしっかり体と心を休ませる「産後デイサービス」を中心に、産後うつ予防と「機嫌よくママが笑顔で子育てができる」ことを目的にしたストレスケアカウンセラーによるストレスケア「脳ストレッチ」を皆様に提供しています。

今後はみやき町から全国へ活動を展開していきたい！と夢をもってスタッフ一同がんばっています。どうぞ皆様からご支援を心からお待ちしております。

新しい産後のあたりまえを
広めたい！



70)動物愛護ボランティア ハッピーボイス

ハッピーボイスでは、動物と人間が共生できる社会を目指して、年間を通して保護犬猫の里親探しや、野良猫の不妊手術、動物愛護の啓発活動などを行っています。近年、ペットブームの陰で、安易な遺棄、多頭飼育崩壊、飼い主の病気や高齢化、避妊・去勢を行わないままの餌やりによる繁殖拡大など、動物と飼い主、さらには地域住民をも巻き込んだ課題が急増しています。

これらの課題に対応するため、いただいたご寄附は、主に保護猫のシェルター整備費とその運営費に充てさせていただきます。どうぞ皆様からのご支援を心からお待ちしております。



71)一般社団法人 Karatsu Film Project

唐津のまちに約30年ぶりに映画館が復活。

「唐津でもう一度映画を観たい」との市民の皆様の声を受け、商業施設「KARAE (唐重)」に「THEATER ENYA (演屋)」がオープンします。

私達は、映画を通して、高齢者に日々の楽しみや生きがいを提供する「予防福祉」や、世代・性別を超えて商店街に足を運び回遊するプラットフォームとなる「地域活性化」、子ども達や若者に対する「文化教育の機会の提供」の実現を目標としています。

「映画で唐津のまちと人を元気にする」そんな私達の活動を応援ください！



72)ふるさと・夢つむぎネットワーク

私たちは小城市の自然を生かした地域づくり及び子どもの健全育成を図る事を目的として活動しています。小城市の三里地区にある牛尾梅林を中心にアウトドアイベント体験を通して遊び・食・農を活用した地域活性化活動を行っています。

また、地元牛津高校や西九州大学とコラボし地元農産物を利用した商品開発を行っています。

ふるさと小城市の里山に気軽に集まれる開かれた場所を作って行きます。

ふるさと
夢つむぎ
ネットワーク

73)佐賀交響楽団

佐賀交響楽団は1977年に発足した市民オーケストラです。これまで、佐賀県の地域文化の発展と県民の皆さんの生涯学習の場としてのオーケストラとして地域密着の活動を続けてきました。現在、毎年一回の定期演奏会を軸に、佐賀市民芸術祭、さが県民「第九」演奏会などに出演しています。毎年の定期演奏会では、県内出身の演奏家との共演を積極的に行うと共に、5年に一度の記念演奏会には世界で活躍するアーティストを招聘し毎年延べ3000人のお客様に演奏を楽しんでいただいています。今後もさらによりよい演奏活動を続けていくために、地域の芸術文化の発信を



これからもさらに高みを目指して歩み続けていくために、皆様の暖かいご支援をいただきますようお願い致します。

74)一般社団法人ぷらむ佐賀

私たちは、事故や脳卒中などの後に発症する「高次脳機能障害」の当事者・家族への支援を行う非営利団体です。2007年家族会として発足し、2015年より佐賀県の相談支援機関に指定されています。

この障害は未だ認知度が低く、外見からはわかりにくい事も多い為に周囲の理解が得られず、誤解をうけたり、時には家族ごと地域で孤立してしまう、自立した社会生活ができにくいなど問題は山積みです。最近では家族の高齢化に伴い、いわゆる「親なき後」を不安視する声も目立ちます。

そこで、私たちは高次脳機能障害に特化し、特性を理解した支援を伴うグループホームの設立を目指しています。地域と繋がり、当事者自らの力で社会生活を営む、また、支えるご家族の心の余裕も守りたいと考えています。

どうか皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。



75)特定非営利活動法人 ATLETICO VIVO SAGA

本団体は地域の方々に対して、サッカー・スポーツ教室の企画・運営、大会やイベント行事の企画・運営、スポーツ活動における指導者および審判の育成・派遣に関する事業を行い、地域の方々の健全な心身の育成ならびに多くの交流による活発なコミュニケーションを促進し、地域コミュニティの活性化に寄与することを目的として活動しています。



76) 特定非営利活動法人市村自然塾 九州

「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念とした子どもたちの健全育成、成長を支援する特定非営利活動法人(NPO 法人)です。農業体験、自然体験、共同生活の3つを柱に、子どもたちの成長支援を行っています。

農作物の栽培から収穫までの体験や、多様な自然の生態、自然の原理を学び、共同生活を通じて、『人として守るべきルールを身につけ、“主体性・創造性などの資質”を育む場』を提供しています。



77) 特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS

被害者支援ネットワーク佐賀VOISSは、暴行・傷害・殺人・性犯罪・DV・ストーカー被害・交通犯罪(死亡・重傷ひき逃げ事故)などの犯罪被害者やそのご家族、ご遺族に対し、抱える問題の解決や心のケア等を行うとともに、誰もが今いるその場所で安全に安心して暮らす権利を保障する社会の実現を目指しています。

皆さまの温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。



78) 特定非営利活動法人 NetworkStation まつろ

※現在準備中です。情報公開までしばらくお待ちください。

79) 特定非営利活動法人 通院送迎サービスふれあい

人工透析患者は、週3回、1回あたり4時間から6時間の透析治療を行なうことで生命を維持しておりますが、現在、佐賀県では、約2,600名の患者数で、透析導入の平均年齢が70歳と言われるように、患者が高齢化し、また、長期透析による合併症が原因で、1人で透析施設に通院できない患者が急増している状況にあります。

このような中で、通院送迎サービスふれあいでは一般市民の方々のご支援、ご協力をいただきながら、ボランティアによる通院送迎サービス「ふれあい」を立ち上げ、透析患者の方で通院困難な患者さんの送迎を行なっています。

しかしながら、新規の送迎ボランティアの方の確保や、事業継続のための運営資金の確保など課題は山積んでいます。どうかこのような実情をご理解いただき、皆さまのご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



80) 特定非営利活動法人CSOかんざき

平成19年2月より「つなごう地域つなげよう気持ち」を合言葉にCSO（市民社会組織）活動応援をはじめ、ネットワークづくり、自らの活動などを通じて、「幸せつなぐまちづくり」を目指し、活動する中間支援組織です。神様が幸せをもたらした神埼の地名語源で命名した活動拠点「神幸館（かみさちかん）」は子どもの社会教育や各種団体等が多数活用交流しています。まちの賑わい再生へも取り組んでおり、毎月の櫛田の市をはじめ、宿場まつりや神幸食フェスタなどの総合事務局などを担う「しかけ拠点」であり、平成30年度には佐賀県より第3回佐賀さいこう表彰（協働部門）受賞しました。



頂いたご寄附はこれらの事業運営経費に活用させていただきます。

81) 特定非営利活動法人 障害者自立生活支援センター ドリーム・ロード

当法人は平成14年12月（平成15年3月法人認可取得）設立。社会は障がい者・社会的弱者の方々が、自立して生活するには、まだまだ厳しい現状にあります。今後も、この現状をしっかりと見据えながら、多くの正会員、賛助会員の皆様と一緒に活動を続けていきたいと思っております。

- 講演会（当事者の声・専門の先生の方々）
- 車いすバスケットの開催
- バリアフリーマップの作成（車イス当事者が健常者と一緒に制作）
- 肢体不自由者運転免許取得支援
- 貧困家庭児・発達障害児の学習支援
- 障がい者メイク会（メイク専門の学生・各業者様の協力で）
- 障がい者料理教室
- 田植え・稲刈り（知的障害・身体障害・健常者と一緒に共同で）



○西九州大での ESRD の開催（障がい者スポーツ・軽スポーツなど）
障がいや社会的弱者の方々の支援に日々活動を行っています。

82) 一般社団法人日本カーシェアリング協会

寄付車を使って、災害支援・生活困窮者支援・地域の足の確保を行います。日本カーシェアリング協会は、寄付で集めた車を使って「持続可能な支え合いの仕組み」を作る非営利組織です。下記のような活動を通してその仕組み作りの実現を目指します。



- ・災害時に被災された方などに車を届ける
- ・生活が困窮されている方、地域を元気にする非営利活動等に車を届ける
- ・移動に困っている人が暮らす地域に車を使った住民主体の支え合いを作る

83) 特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会

全国の千以上の福祉関係団体が加盟する特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会（略称 市民協）です。

「自宅で死ぬる」「優しい福祉のある地域社会」を推進していくことを目的に活動をしております。

身近な地域における助け合い・支え合いの担い手である全国各地の福祉系 NPO やボランティア団体への中間支援を通じて、これらの活動を後押ししております。皆様の寄付により、「情報発信、教育福利、協同、経営サポートなど」多岐にわたる支援を、全国の NPO 団体、ボランティア団体に実施でき、地域の高齢者・障がい者などの応援になります。



皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

84) 特定非営利活動法人わたしと僕の夢

未来を担う子ども達をみんなで応援しています。

「わたしと僕の夢」は、経済的に困窮している家庭や、ひとり親家庭の子ども達に、学習支援と、「子ども達が生きる力を身に着ける」ための様々な活動を行っています。

具体的には

- ① 中学生を対象に高校進学を目指す子どもへの無料の学習支援（webでの指導有）をしています。
- ② バランスの取れた手作りのあたたかい食事を無料で提供し、心身の健康な発育を支えています。
- ③ 子どもと親が様々な人と出会い、悩みなどを受け止める居場所となることで、心の安定を図り、将来への生きる力を育てていく支援をしています。
- ④ 様々な職業観を身につけるための授業や企業訪問などを行っています。



85) NPO 法人 ソレイユ・ヴェルプレット

NPO 法人ソレイユ・ヴェルプレットはサッカークラブ FC ソレイユの運営を行っています。

- ・個性の輝き
- ・チームへの輝き
- ・夢への挑戦の輝き

3つの輝きを軸に選手が成長できる環境を提供しています。

現在幼児から中学生までの選手がサッカーを楽しんでいます。

今後はもっと多くの世代が楽しみ、サッカーだけではなく多くのスポーツが楽しめる『地域総合型スポーツクラブ』を設立予定しています。

NPO 法人ソレイユ・ヴェルプレットへ集まったご寄付はクラブ施設の環境整備、マイクロバスの運用、クラブの運営費等に活用させていただきます。



86) 巨勢まちづくり協議会

佐賀市東部の巨勢町では、平成26年から「巨勢まちづくり協議会」を設置して、「みんなでつくる、住みよい巨勢」を目標に、「運営・企画」「子ども」「福祉・健康」「安心・安全」「環境資源」各部会で取り組んでいます。加えて令和2年度からは、病院や買物への移動が困難な高齢者の期待にお応えして、支援車両“コセべんりカー”による「移動支援」事業を始めたほか、地域課題の「自主防災組織設置推進」や「歴史・文化継承」にも着手しました。ふるさと納税は、事業の継続と更なる充実のため活用いたしますのでご支援よろしく申し上げます。



87) フードバンクさが

わたしたち「フードバンクさが」が目指すのは、まだ食べられるのに捨てられる食品の削減と、有効活用できる循環型社会の実現です。

また、「フードバンク」という“食品の銀行”を通じ、食品の寄贈と提供はもちろんのこと、さまざまな方々が食品や資源の交換や持ち寄りを通じ、地球環境を配慮しながら、佐賀という土地がもっと元気になることを目指しています。



88) 赤松まちづくり協議会

①子どもの幸せ②元気な高齢者づくり③そして防災—の3つが柱。

お隣さん、お向かいさんを最小単位にした地域ぐるみの活動。

助成金のみを頼らず、NPO法人化も視野に進む地域づくりを

目指しています。コロナ禍の中でも長年続ける地域イベントを

安易に中止するのではなく、ぎりぎりまで考え、集まれないのなら

LINEなどのSNSも駆使して情報を共有し、協議を重ねて

新しいイベントの形を探るなど、一つずつ解決しています。

自治会長や民生委員からPTA、子ども会、消防団など

幅広い世代が一丸となって新時代の地域づくりへ邁進しています。



89) 特定非営利活動法人プロジェクトさが

私たちは、安心して暮らし続けることができる地域社会を実現するため、福祉、環境、まちづくりにかかわる事業を行い、誰もが人と人とのつながりや温もりを感じ、安心して心豊かに生活できる笑顔と元気に満ちた「さが」を目指し、活動しています。

現在は、耕作継続が困難なみかん農地を荒廃防止のために、地域の皆さんと協力して、オリーブの植栽を行い、緑化の保全と地域の活性化を推進しています。

オリーブの風農園の35アールの農地で100本のオリーブの木が元気に育っています。

もう一つは里山環境を保全するため、広がる荒廃竹林を整備・活用する活動の展開です。

竹林を活用して、タケノコを採取し、メンマなどに加工して、地域の特産品化をして地域の活性化につなげる活動です。生産から加工まで地域の資源を連携して活動を広げ、竹林の伐採・整備につなげ、荒廃竹林の防止と里山環境の保全に取り組んでいます。

ふるさと納税でいただいた寄付金は、活動の基盤強化と地域活性化の推進に活用させていただきます。



90) NPO 法人小児がん・まごころ機構

医療の発展により、日本の小児がん治癒率は80%近くに上り、多くの小児がん経験者が、現在の日本の社会を支える大切な一員として活躍しております。しかし、アジアの70%以上を占める発展途上国では、小児がんの治癒率は未だ0~30%です。このような不平等を無くすため、2018年、国際連合（国連）は、「2030年までに世界の小児がんの治癒率を60%以上に上げる。」と宣言しました（SDGsのひとつ）。

そこで、私たちは、WHOや国際小児がん学会（SIOP）、日本小児がん研究グループ（JCCG）等と連携し、アジアの小児がん治療研究グループ（APHOG）を立ち上げ、支援する活動を始めました。東京と佐賀を拠点とし、日本を含むアジアの小児がんの子ども達が、平等で質の高い診断と治療を受けることが出来、小児がんを経験した人々が生涯にわたり安心して生活することのできる社会の構築を目指します。



91) 特定非営利活動法人ジャパンハート

佐賀県から災害に強い日本を創る！---

ジャパンハートは1995年から国内外で無償の医療提供を実施している日本発祥の国際医療NPO法人です。東南アジアで年間3万件の治療に加え、国内では災害時の緊急救援活動として、東日本大震災、熊本地震、令和2年7月豪雨などにおいて、医療支援を行ってきました。直近は、新型コロナクラスター緊急支援に医療チームを派遣しており、長崎県、熊本県、沖縄県、青森県、そして北海道など8の自治体等へ対策医療支援活動を実施しています。



災害時の医療従事者の方々は、自分自身が被災者でありながら、病院を運営し、避難所を周り、地域の方々を訪問するなど、過酷な状況に追い込まれます。

そのため、ジャパンハートでは、地域の医療従事者の方々をサポートすることを通じて、被災者の方々の健康を支援することを大切にしています。

佐賀事務所では、行政、NPO、医療機関の方々と平時から連携することで、九州を初めとする災害時の医療支援体制を強化し、佐賀から九州そして日本の緊急救援を支えてまいります。

92) ケア・サポーターズクラブ佐賀

私たちは CARE※の日本支部である国際協力 NGO（公財）ケア・インターナショナルジャパンの国際協力活動・普及啓発活動への支援を通じ、貧困の解消と世界平和に貢献することを目的として活動しております。県内では女性や女子の自立支援を目的として講演会や研修会、また障がい者団体製作品の活用販売支援、更に災害時には被災地支援のための義援金活動を行っております。



その活動は国連で決められた、「SDGs」（持続可能な開発目標）であります。

広く県民を対象としてチャリティ講演会やコンサートによる支援や女性や女子の自立支援を図るための研修会などその活動を充実していきます。

※CAREは世界中の災害や差別、貧困で苦しむ人々、特に女性や女子に焦点をあて、貧困の撲滅とジェンダー平等、平和な世界を築くための活動を行っている国際協力 NGO です。

93) 表現の絆みらい Kick ton ton 基山

※現在準備中です。情報公開までしばらくお待ちください。

94) 一般社団法人ガールパワー

ガールパワーは「女性が自由に生きるための女子教育提供」をミッションとした女性支援 NGO です。現在は日本とインドで活動しています。「女性が自由に生きる」とは「すべての女性が夢をかなえる」ことであると考えています。その目標達成のために、女子高生から子育てママまで、さまざまな年代、立場の女性へのキャリア支援を中心に、多彩な活動を行っています。



95) 特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

※現在準備中です。情報公開までしばらくお待ちください。

96) 特定非営利活動法人き一坊と愉快的仲間たち

～高齢者と将来世代が、互いに支えあう「ヤング・オールド・バランス」の実現のために～

現在の日本は核家族化が進み、単独世帯、夫婦のみの世帯、夫婦ともに65歳以上の世帯などが増加しているのが現状です。「人生100年時代」と言われている昨今では、70歳を超えて働くことを想定している人も少なくありません。そのために必要不可欠な要素として、「健康寿命」を延ばすことへの関心が年々高まっています。私たちは、地域の方々の協力を得ながら、講話や、レクリエーションを通じて高齢者の介護予防、独居老人への声かけ、生きがいづくりの促進事業を行っています。また、若い世代へ向けて、地域の問題をともに学習し発信することで、失われつつある地域の絆を取り戻す取り組みを佐賀県を拠点として活動しています。さらに近年の気候変動による甚大な自然災害も活動の視野に入れ、老人や子供たちへの防災訓練や応急対応の実演・訓練を各世代参加型で行っています。



97) NPO 法人 WeD

Vission

「唐津の高校生が、今まで知らなかった世界に気づき、自らその視野と選択肢の幅を広げ、目的を追いかけられる地域」

Mission

「気づきのきっかけとなる『場所』『機会』そして『つながり』の提供と、成長につながるほんの少しの後押しをする」

私たち NPO 法人 WeD は、地域との様々な連携を基に、高校生が自ら成長するためのプラットフォームづくりを行っています。

ご支援の程何卒宜しく申し上げます！



98) NPO 法人キャンパス

就職難で悩む難病患者や障がい者の方々の中には、パソコンの音楽ソフトを使用し素晴らしい楽曲作りに励んでおられる方がおられます。

当団体は、「難病・障がいを持つ方々が、音楽に特化した働ける事業所」を設立したいという理念で、2021年1月7日に特定非営利活動法人としてスタートしました。

音楽は全ての人の共通言語であり、生活に欠かせないものです。

キャンパスでは「ミックスマスタリング」「楽曲制作」「譜面作成」などの音楽に関する相談、在宅で音楽を楽しむ方々へのサポート、難病患者や障がい者の音楽活動を応援しています。

就職難で悩む音楽好きな難病患者や障がい者をスタッフとして迎え、就労していただく皆さんが、安全で安心でき自分の生き方と向かい合える時間の流れを作り、なお且つ手を取り合いながら頑張り笑いあえるような法人を目指しています。

頂いたご寄附は、就職難を抱えた障がい者の方へのより良い職場提供（働き方改革）、お客様により良い品質提供のための機材購入、障がい者の方々をメインに迎えたイベント主催への活動資金として活用させていただきます。

ご支援、よろしく願いいたします。



99) 特定非営利活動法人みんなの自然農園

自然に近い農法を広げるために、活動をしている非営利活動法人(NPO) 団体です。

より自然に近い形の食べ物を「作る人」「食べる人」を増やすことにより、後世により良い環境を残すことを目指し活動している団体です



100) 一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム

意志ある若者にあふれる、持続可能な地域・社会を実現するために力を貸してください。島根県立隠岐島前高校で作り上げた高校魅力化のモデルケースを、「地域みらい留学」として全国に展開しています。2021年4月現在、全国26道県70校が参画し、北海道から沖縄まで、その土地に密接した多種多様な教育カリキュラムを備えて生徒を受け入れています。「意志ある若者が育つ魅力ある教育環境を実現し 新たな人の流れを生む かけがえのない一助となる」というミッションを掲げ、持続可能な地域・社会の実現を目指しています。

101) 一般社団法人おもやい

※現在準備中です。情報公開までしばらくお待ちください。



ここから、
きっと、
私をはじめ。



地域みらい留学

高校進学

3years